

2008年版

# 環境活動レポート

2007年9月～2008年9月



太陽光発電



風力発電

2009年1月



広瀬電工株式会社

# 目次

ご挨拶

広瀬電工株式会社の環境方針 .....P 1

1. 事業の概要 .....P 2

2. 環境活動実施体制 .....P 3

3. 環境目標とその実績 .....P 4

4. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 .....P13

5. 代表者による全体の評価と見直し .....P13

## ご挨拶

2008年は、京都議定書の  
第一約束期間(2008年～2012年)が  
スタートした年であり7月には北海道  
洞爺湖サミットが開催されるなど、  
温暖化問題の解決に向けた動きが  
本格化した一年となりました。



廣瀬社長

当社はエコアクション21認証取得後の初めての更新年を向かえ10月に  
更新許可をいただきました。今後も環境方針に掲げた、「環境に配慮した  
電気・設備機器の販売並びに、施工・メンテの推進により快適生活環境の  
創造を通じて地域社会と地球環境に貢献する」ことを推進していきます。

2008年 12月

代表取締役社長 廣瀬 美智俊

## 広瀬電工株式会社の環境方針

広瀬電工(株)は新経営戦略に加えた「環境宣言」を策定し、  
その実現に向けて行動するための「環境方針」を以下のように定める。

### 環境宣言

地球上全てのものが共に栄えることがなければ真の発展繁栄はあり得ないという自然の理法に基づく考えと、慈しみと公平な考えで万物を生かすという人間に与えられた責務への自覚をもとに、様々な社会的責任を遂行するために、環境の維持向上に万全の配慮と不断の努力を行う。

### 環境方針

広瀬電工(株)は環境に配慮した電気・設備機器の販売並びに施工・メンテの推進により、快適生活環境の創造を通じて地域社会と地球環境に貢献する。

- 1 電気・設備機器の販売・設計・施工の事業において、省資源・省エネルギー及び廃棄物削減・リサイクル等の環境保全への取組みに努力します。
- 2 自社の業務管理・運営全般にわたり、省資源・リサイクルを推進すると共に、快適なオフィス環境と調和したエネルギー消費削減に努力します。
- 3 環境目標を定めて社内に周知徹底し、環境経営システムを確立・実行すると共に、定期的な代表者による見直しを通じ継続的な環境経営システムの改善と環境汚染の予防に努力します。
- 4 関連する環境法規制・協定及びその他の同意する要求事項について、これを遵守します。
- 5 全従業員に対してこの環境方針の周知をはかるとともに、環境教育を計画的に行い、環境活動の定着、向上に努めるとともに、環境活動計画及びその実施状況並びに環境関連情報については『環境活動レポート』に取りまとめて公表します。

平成 17 年 4 月 1 日制定

広瀬電工株式会社

代表取締役社長

廣瀬美智俊

# 1. 事業の概要

(1) 事業所名 広瀬電工株式会社  
代表者名 代表取締役社長 廣瀬 美智俊

## (2) 所在地

本社・(量販営業G)…… 東京都千代田区外神田1-10-5 廣瀬本社ビル6階  
営業本部 …………… 東京都文京区湯島2-1-8 廣瀬白梅ビル2・3階  
(環境事業G・住宅営業G・設備営業G・市販営業G・施工センター)  
甲府事務所 …………… 山梨県甲府市古上条町519-1  
千葉事務所 …………… 千葉県千葉市中央区稲荷町3-8-3  
銚子事務所 …………… 千葉県銚子市前宿町484  
多摩DC …………… 立川市栄町3-8-1 岩崎倉庫内  
湯島DC …………… 東京都文京区湯島2-1-8 廣瀬白梅ビル1階  
上尾DC …………… 埼玉県上尾市地頭方北谷416-1 濃飛倉庫運輸(株)上尾(営)2階

※ DC(デリバリーセンター) 配送拠点

## (3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

・環境管理責任者 常務取締役 佐倉 賢吉  
・連絡先 電話:03-3255-0130 FAX:03-3255-5083  
E-mail:[info@hirosedenko.co.jp](mailto:info@hirosedenko.co.jp)

## (4) 事業内容

電設資材、照明器具、空調機器、オートメ機器、防災信号機器、  
有線無線通信器具の販売及び設計・施工業務、産業廃棄物収集運搬業、  
蛍光灯のリース業

## (5) 事業規模

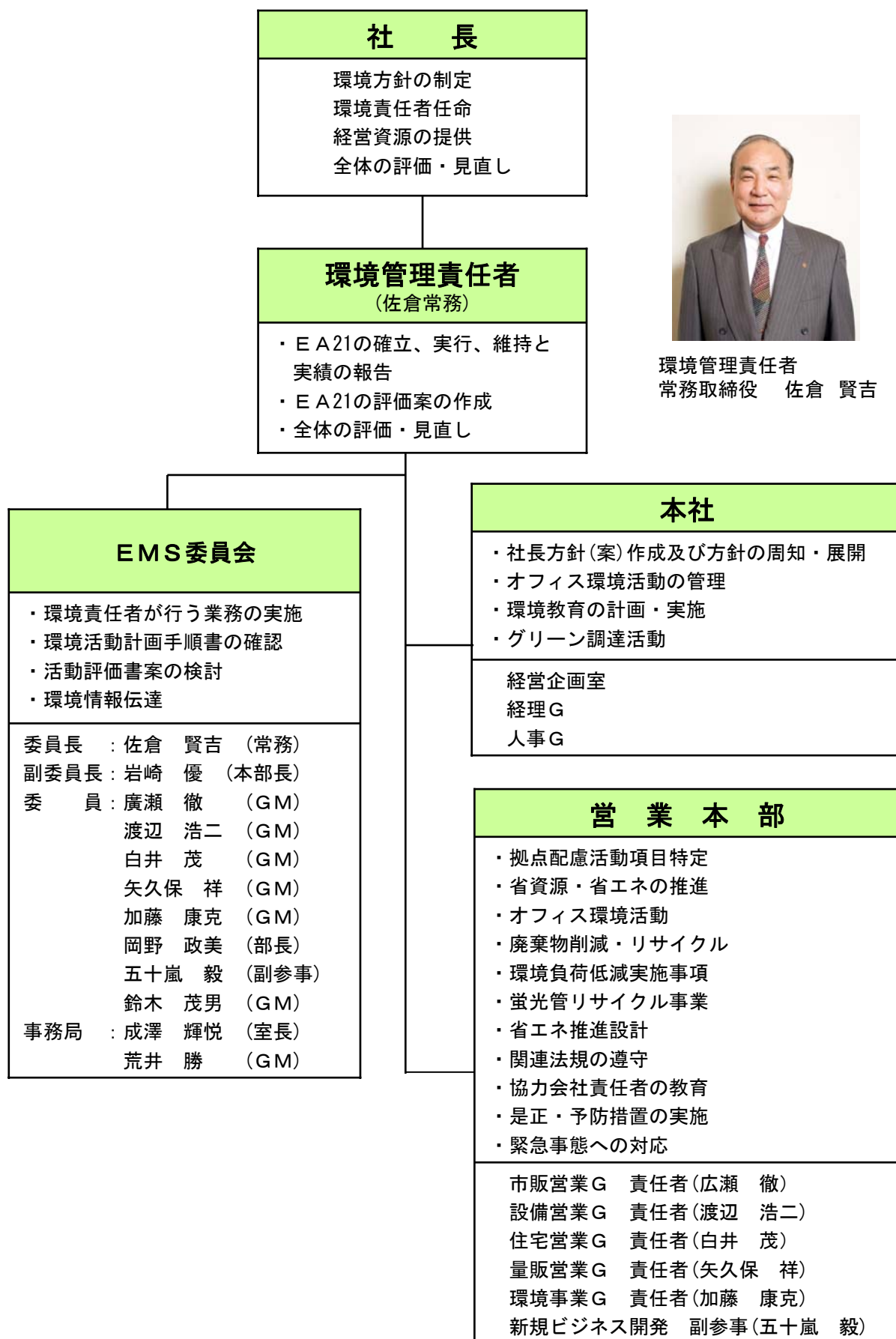
売上高	平成20年度 ……	7,290百万円
(全社)	平成19年度 ……	6,700百万円
	平成18年度 ……	6,600百万円
従業員数	平成20年度 ……	90人
(全社)	平成19年度 ……	81人
	平成18年度 ……	75人
本社・事業所面積		
	平成20年度 ……	2,145㎡
	平成19年度 ……	2,145㎡
	平成18年度 ……	2,295㎡

## (6) 会計年度

決算期 年1回 9月20日 (自平成19年9月21日 至平成20年9月20日)

\* 決算期を平成20年度より9月20日に変更しました。

## 2. 環境活動実施体制



環境管理責任者  
常務取締役 佐倉 賢吉

### 3. 環境目標とその実績

環境方針、環境負荷及び環境活動の状況把握・評価結果を踏まえ、具体的な「環境目標」を次のように設定し、その達成に努めました。

#### (1) 環境目標の達成状況

取組項目		19年度	20年度			
		実績	目標	目標値	H19.10～ 20.9 実績	達成率
二酸化炭素 排出量削減	電力消費量の削減	90,906kWh	平成19年度比 総量2%削減	89,088kWh	108,582kWh	82%
	ガソリンの燃費効率 の向上	9.25 k/Mℓ	平成19年度比 1ℓ当りの走行距離 2%UP	9.44k/Mℓ	8.95k/Mℓ	95%
紙使用量の 削減	コピー紙使用量の 削減	1,060kg	平成19年度比 総量で5%削減	1,007kg	1,180kg	85%
グリーン購入の推進		購入 全体の 75%	エコ商品の採用	購入 全体の 75%	購入 全体の 46%	61%
廃棄物の 削減	一般廃棄物の削減	9,515kg	ゴミ分別量の把握 廃棄物書類の リサイクル化の推進	9,325kg	16,737kg	56%
水資源使用量の削減		※1 496m <sup>3</sup>	使用量の把握	※1 486m <sup>3</sup>	639m <sup>3</sup>	76%
リサイクル・ 省エネ推進	蛍光灯のリサイクル 事業の推進	41.05t	前年目標10%UP	45.2t	37.2t	82%
省エネ推進	電球型蛍光灯販売 による省エネ推進	12,892個	前年目標10%UP	※2 70,100個	99,063個	141%
	省エネエアコンの 販売推進	587台	前年目標10%UP	※2 880台	1,748台	199%

※1 H19年度報告数字(767m<sup>3</sup>)に誤りがあり、前年実績と目標値訂正

※2 H19年度報告数字確定時から省エネ商品の商品分類が変更になった為前年報告値より変更

## (2)今年度以降の中期環境目標

今年度の実績をふまえ以下のとおり目標を設定いたします。

取組項目		平成21年度			平成22年度
		目標	数量 目標値	kg-CO2 目標値	目標
二酸化炭素 排出量削減	電力消費量の 削減	平成20年度比 総量2%削減	106,410kwh	36,073	平成21年度比 総量2%削減
	ガソリンの燃費 効率の向上	平成20年度比 1ℓ当りの走行 距離 2%UP	9.1k/ℓ	20.9	平成21年度比 1ℓ当りの走行 距離 2%UP
紙使用量の 削減	コピー紙 使用量の削減	平成20年度比 総量で5%削減	1,121kg	-	平成21年度比 総量で5%削減
グリーン購入の推進		エコ商品の採用	購入 全体の75%	-	エコ商品の採用
廃棄物の 削減	一般廃棄物の 削減	平成20年度比 総量2%削減	16,402kg	-	平成21年度比 総量2%削減
水資源使用量の削減		平成20年度比 総量で2%削減	626kg	-	平成21年度比 総量で2%削減
リサイクル・ 省エネ推進	蛍光灯の リサイクル事業 の推進	平成20年度比 10%UP	総量 41t リサイクル	-	平成21年度比 10%UP
省エネ推進	電球型蛍光灯 販売による 省エネ推進	前年目標 10%UP	総数 108,969個 販売	10,352	前年目標 10%UP
	省エネ エアコンの 販売推進	前年目標 10%UP	総台数 1,923台 販売	165,378	前年目標 10%UP

注：\* 電力消費量、水使用量に関して、本社(広瀬本社ビル)・多摩DC(岩崎倉庫)・上尾DC(濃飛運輸)のテナント内事業所は、按分請求のため個別データが掴めないの、削減目標値としては挙げないが、具体的活動計画は実行することとしました。

### (3) 目標達成のための環境活動計画の内容

目的		環境活動計画の内容
二酸化炭素 排出量削減	電力消費量の削減	前年度比 総量2%削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休み及び不在部署の消灯を徹底</li> <li>・エアコン温度夏場28度、冬場20度に設定</li> <li>・ノンネクタイの実施(フロアー内)</li> <li>・エコファッションの推進</li> </ul>
	ガソリンの燃費効率の向上	前年度比 1ℓ当りの走行距離 2%UP <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業車運転管理の徹底</li> <li>・エコドライブの実施</li> <li>・停車時のアイドリングストップ</li> </ul>
紙使用量の 削減	コピー紙使用量の削減	前年度比 総量で5%削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピー化 ・使用済み用紙の裏面利用</li> <li>・会議資料の削減</li> <li>・電子化(DocuWorks)によるペーパーレス</li> </ul>
水使用量の削減		前年度比 総量で2%削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用量の把握と削減方法の検討</li> </ul>
グリーン購入の推進		エコ商品の採用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー用紙, 名刺の再生紙利用</li> <li>・エコマーク商品の積極的推進</li> </ul>
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	前年度比 総量で2%削減 一般廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・種類別に分別回収量を把握する</li> <li>・保管書類の100%リサイクル化</li> </ul>
リサイクル・ 省エネ推進	蛍光灯のリサイクル 事業の推進	前年度比 10%UP <ul style="list-style-type: none"> <li>・あかり安心サービスの積極的推進</li> <li>・処理施設と最終処分の確認</li> <li>・前月マニフェスト伝票の検証</li> </ul>
省エネ推進	電球型蛍光灯販売による 省エネ推進	前年度目標 10%UP <ul style="list-style-type: none"> <li>・電球型の蛍光灯の積極的販売</li> <li>・量販店への棚割り推進 ・量販店別販売目標で管理</li> </ul>
	省エネエアコンの 販売推進	前年度目標 10%UP <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点別販売管理</li> <li>・超省エネ・エアコンの積極的推進</li> <li>・有力店別販売計画の設定</li> </ul>

#### (4) 環境活動の取組結果の評価

・事業活動へのインプットに関する項目の平成20年度実績は以下の通りです。

##### ① 電力消費量の削減（平成19年度比 総量2%削減）

電力消費量合計

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
電力消費量	95,448kWh	90,906kWh	108,582kWh
CO <sub>2</sub> 排出量	32,356kg-CO <sub>2</sub>	30,817kg-CO <sub>2</sub>	36,809kg-CO <sub>2</sub>
前年比較	-	1,539kg-CO <sub>2</sub> 削減	5,992kg-CO <sub>2</sub> 増加

（CO<sub>2</sub>排出係数 0.339・・・東京電力発表 2006年度実績より）

計画目標は未達であり、達成率82%でした。

要因としては、前年実測時以降に組織変更や、人員増加があり消費量が大幅に増加した。引き続き不在部署の消灯とエアコン設定温度の徹底を図ると同時に著しく消費量が増加した湯島(白梅ビル)に回路毎の電力測定を行ない消費電力の削減に努めたい

##### ② ガソリンの燃費効率の向上（平成19年度比 2%UP目標）

1ℓ当りの走行距離平均

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
走行距離（1ℓ当り）	9.46k/ℓ	9.25k/ℓ	8.95k/ℓ
前年比較	-	0.21k/ℓ減少	0.3k/ℓ減少

計画目標は未達であり達成率95%でした。

運転状況(走行距離・ガソリン使用量)の把握について個人ごとに取り組みにバラツキがある。

再度営業車運転管理マニュアルの周知徹底を図る。

③ コピー紙使用量の削減（平成19年度比 総量5%削減目標）

コピー用紙使用量

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
コピー紙使用量	1,381kg	1,060kg	1,180 kg
前年比	-	23%削減	11%増加

目標、前年比ともに未達だった。計画達成率は85%でした。

ペーパーレスを目的とした文書管理ソフト(DocuWorks)が各拠点普及したにもかかわらず使用量は低下しなかった。要因としては営業先へ配布する研修資料、チラシを自社で印刷したためと判明した。

今後営業活動資料を自社作成、業者依頼のどちらが良いか比較検討中である。また使用済用紙の裏面利用・両面コピー実施・社内会議の際のペーパーレス化は、習慣となっているので引き続き継続する。

④ グリーン購入の推進（エコ商品の採用）

文房具購入全体に占める割合

現在採用しているグリーン購入法適合商品

	平成19年度	平成20年度
数量	87.5%	45%
金額	64.5%	32%



目標、前年比ともに未達だった。

購入方適合商品がない文具の購入(印鑑・印章)や、再生紙・再生樹脂の偽装問題で一時的に適合外商品を購入した為未達となった。

今後購入先の見直しや、選定の際にグリーン購入適合商品を採用するよう再度徹底する。

⑤ 一般廃棄物の削減（平成19年度比 総量で2%削減）

一般廃棄物排出量合計(kg)

	平成19年度	平成20年度
廃棄物排出量	9,515kg	16,737kg.
前年比	-	76%増加

昨年度より一般廃棄物量の数値把握を始めたが、産業廃棄物の実績を含めていなかった為、今年度の前年比は増加している。

当社の営業活動に施工・工事等、廃棄物排出が伴うものが多い為、量の削減だけでなく、以前から実施していたゴミの種類別分別や数量把握を徹底していく。

⑥ 水資源使用量の削減（平成19年度比 総量で2%削減）

水使用量合計(m<sup>3</sup>)

	平成19年度	平成20年度
水使用量	496m <sup>3</sup>	639m <sup>3</sup>
前年比	-	28%増加

計画を大幅に上回った。

従業員の増加と湯島(白梅ビル)内にある社員寮に2名増加したことにより水の使用量が増加した。

寮生には風呂、洗濯の効率を図る様指示すると同時に全従業員に徹底した意識改革をし節水を心がける様に周知徹底をした。

・事業活動へのアウトプットに関する項目の平成20年度実績は以下の通りです。

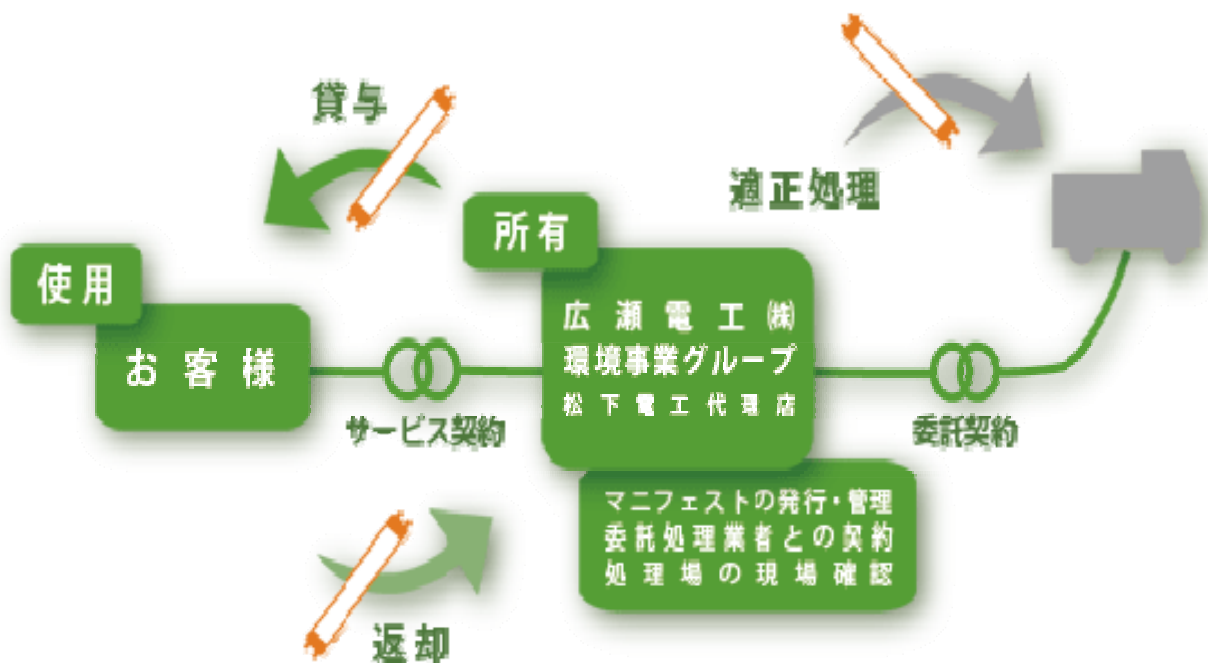
⑦ 蛍光灯のリサイクル事業の推進（平成19年度比 10%UP）

蛍光管リサイクル処理重量(t)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
処理重量	28.45	41.05	37.23
前年比	-	44%増加	9.3%減少

前年よりも契約サイト数の進捗が思わしくない、大口顧客の契約解除等もあって未達に終わったが、既存契約の更新や大口顧客の新規開発により実績を増やすよう推進する。

あかり安心サービス(蛍光管処理)の流れ



⑧ 電球型蛍光灯販売による省エネ推進（年間70,100個販売目標）

電球型蛍光灯販売数量(個)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
販売数量	11,772	12,892	99,063
CO <sub>2</sub> 排出量	1,118kg- CO <sub>2</sub>	1,225kg- CO <sub>2</sub>	9,411kg- CO <sub>2</sub>
前年比較	-	107kg- CO <sub>2</sub> 削減	8,186kg- CO <sub>2</sub> 削減

前年よりも省エネ電球型蛍光灯の品目が増えた為、実績が伸びた。

また 洞爺湖環境サミット等の影響で省エネ電球の需要が伸びた。

消費者の省エネに対する意識が高まっているので、今後も販売促進と商品確保に努力する。

電球型蛍光灯60W相当とシリカ電球60W相当のCO<sub>2</sub>比較

6H/日点灯	(係数0.378)
★電球型蛍光灯	0.027kg- CO <sub>2</sub>
シリカ電球	0.122kg- CO <sub>2</sub>
※1個あたり	0.095kg- CO <sub>2</sub> 削減

当社にて販売数している電球型蛍光灯

業界最高の省エネ性、電球サイズのコンパクト性



⑨ 省エネエアコンの販売推進（総台数620台販売目標）

省エネエアコン販売数量(台)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
販売台数	564	587	1,748
CO <sub>2</sub> 排出量	48,504kg - CO <sub>2</sub>	50,482kg - CO <sub>2</sub>	150,328kg - CO <sub>2</sub>
前年比較	-	1,978kg - CO <sub>2</sub> 削減	99,846kg - CO <sub>2</sub> 削減

既存住宅への超省エネエアコンの買い替え促進や電気代シミュレーションを御得意先に周知してもらえようツールを用意し販売促進に努めた。

今後は御得意先へ省エネエアコン設計スペックインキャンペーンを企画している。

省エネエアコンと標準エアコンのCO<sub>2</sub>比較

- ・係 数:0.372
- ・外気温度:東京をモデルとしています
- ・期 間:冷房期間3.6ヶ月(6/2~9/21)  
暖房期間5.5ヶ月(10/28~4/14)
- ・使用時間:6:00~24:00 18時間  
22タイプ(6畳タイプ)の比較

★省エネエアコン(XBタイプ) 248kg - CO<sub>2</sub>  
標準エアコン(TBタイプ) 334kg - CO<sub>2</sub>

※1台あたり 86kg- CO<sub>2</sub>削減

当社にて販売推進している省エネエアコン



気流ロボット + 設置位置メモリー 発距離メモリー で年間約30%の電気代削減

フィルターお掃除ロボット で年間約25%の電気代削減

※電力料金目安単価1キロワットアワーあたり22円



※ グリーン購入法適合商品

## 4. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### (1)適用となる主な環境関連法規

主な適用法規	該当する主な活動
大気汚染防止法	自動車等の排気ガス量の抑制に努める
省エネルギー法	エネルギーの消費効率の向上に取り組む
循環型社会形成推進基準法	循環資源の適正な利用と原材料等が廃棄物となることを抑制する
資源有効利用推進法	使用済み物品等を再生資源もしくは再生部品として利用に努める
廃棄物処理法	廃棄物を自らの責任において再利用と適正に処理する
家電リサイクル法	特定家電用機器廃棄物の収集及び再商品化等に関し適正に措置を講じる
建設リサイクル法	分別解体等及び再資源化等を推進し適正に処置を講じる
グリーン購入法	出来る限り環境品等を購入する
自動車NOx・PM法	適正運転と車両の維持管理をする
フロン類回収破壊法	第1種フロン類回収業者としてフロン類取引等の基準に従う

### (2)違反、訴訟等

- ・環境関連法規等の遵守状況チェックリストにより確認した結果、環境関連法令違反はありませんでした。
- ・関係機関等からの訴訟等も1件もありませんでした。

## 5. 代表者による全体の評価と見直し

今年度は、取組目標項目に対し2勝7敗という結果になりました。

未達成で終わった各取組目標についての問題点の検討と改善を早急に実行すると共に、一層環境教育の充実を図り、自覚を高め、継続的に改善活動を進めていく所存です。